

町制施行100周年記念(カウントダウン100)あと1日

宇美町議会ワンチーム



町制施行100周年を祝うカウントダウン100を町のホームページやフェイスブックページで行ってきました。ラスト1日は、宇美町議会からお届けしました。議会も町もワンチーム。心をつなぐ100年に向けて進んでいきます。

議長 古賀ひろ子

宇美町が誕生して100年という町の歴史にとって大変意義深い日を迎えることとなり、心より祝福したいと存じます。

大正から昭和、平成から令和と続く激動の中を先人たちのご尽力により、本町は常にたゆむことなく、着実に前進・発展を続けてまいりました。

議会としては、輝かしい次の100年のために、今後とも全議員が議会活動を通じて、より良い宇美町の実現に向かって邁進してまいります。

大先輩よりひと言

議会議員OBから次の100年へつなぐメッセージ

副議長 議長 中市 和博氏 西依 和彦氏 藤野 晃嗣氏 藤木 匠氏



故村山 敏男氏 故賀茂 俊雄氏 神武 照氏 神武 敬佑氏 石川 義一氏 松下 弘毅氏

中市和博さん

昭和61年から平成26年まで7期28年間ご活躍

大正9年に町制施行され、本年10月20日で100周年を迎え、誠にありがとうございます。

倭国の事情が詳しく記されている中国の古書「魏志倭人伝」に不弥国という文字があり、これが宇美町ではないかという説があります。山紫水明に恵まれ、古い歴史と文化財が豊富に鎮座する郷を、これからも博多の奥座敷として、価値ある歴史の町として次世代に引き継いでいってほしいと願っています。

藤木匠さん

平成14年から平成30年まで4期16年間ご活躍

青年団長をしていた時期に、宇美町は福岡地区のどん詰まりだが、勝田線を太宰府まで延線できれば、福岡都市圏の東側の開発が一気に進むと町の未来を語っていたこともありました。

地下鉄は空港まで伸びていますが、博多の森から志免町～宇美町～太宰府市へと延伸できれば、通勤・通学の利便が高まるだけでなく、インバウンドの観光客も取り込めます。若者が大きな夢を語る宇美町であってほしいと願っています。

日本遺産「古代日本の『西の都』～東アジアとの交流拠点」に追加認定特集

大野城跡(四王寺山)森林浴ウォーキング



これから絶好の紅葉シーズンを迎える四王寺山

今年6月に日本遺産「古代日本の『西の都』～東アジアとの交流拠点」に追加認定された古代朝鮮式山城「大野城跡」を巡る森林浴ウォーキングが、四王寺町民の森協会の主催で10月24日(土)に行われました。

当日は「四王寺三十三体石仏巡りコース」、「祈りの地と博多湾を望む絶景コース」、「岩屋城コース」の3コースに分かれて実施され約50人が参加しました。

四王寺山は江戸時代には祈りの山として、疫病が流行した際に四天王が祀られ、多くの経塚に銅製の経筒に入れた写経が納められました。また、三十三体の石仏が祀られており、今も多くの方が石仏巡りを楽しんでおられます。

宇美町は石仏巡りコースを担当し、参加者は学芸員の歴史的背景などの説明に聞き入っておられました。



周囲8キロに及び土壁はミニ万里の長城と言われ、石仏は土壁の周辺に置かれています。石仏を巡りながら絶景ポイントや滝などの名所を巡ることができる四王寺山は、絶好のハイキングコースになっています。



10月24日(土)から1年間にわたり、「四王寺三十三体石仏スタンプラリー」を行っています。

県民の森センターまたは宇美町歴史民俗資料館でオリジナル石仏缶バッジがもらえます。詳細はホームページをご覧ください。



宇美中学校2年生が議会を取材

議会を取材することで次の100年が見えてくる



宇美中学校2年生は、総合の学習の一環として、町内のさまざまな職場や店舗を取材し、報告会を行う取組をされ、竹山君、柴戸君、濱田君の三人が議会を取材してくれました。

議会からは、正副議長と両常任委員長が議会広報や副読本「わたしたちの宇美」を使って質問に答えました。後半は、議場に入って模擬的な質問体験やモニター・マイクの操作体験をするなど、議会の雰囲気を感じました。

「議会を知れば、町の次の100年が見えてくると思い取材にきました。議会からの要望で全小中学校にエアコンが設置されたことを知り、このエアコンがなければ大変なことになっていたと思います。また、新型コロナウイルス感染症対策もしっかり行っていたのを見て、感想を語ってくれました。



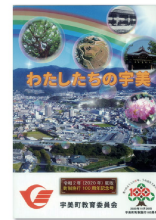
タブレット端末を使った取材



モニターやマイクの操作を体験



発言者席で模擬質問を体験



副読本「わたしたちの宇美」